

留学先大学： ワシントン大学（University of Washington）
 留学先での所属学部・研究科： Arts & Sciences
 留学先での在籍身分： 交換留学生
 留学期間： 2012 年 9 月～ 2013 年 6 月
 神戸大学での所属学部・研究科： 国際文化学部国際文化学科
 学年（出発時）： 3
 本報告書記入日： 2013 年 7 月 25 日

授業について

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	Exploring Social Anthropology	Perez, Michele Vincente	5	5	185	文化人類学を基礎から教えてくれる。リーディングが多く、レポートも2週間に1回はある。わからなくなればTAに相談すればよい。
2	Latinos in the US	Gamboa Erasmo	5	5	50	ヒスパニック系移民についての授業。出席重視。また、グループでのプレゼンテーションがある。授業にきちんと参加すれば大丈夫。
3	Introduction to communication II	Malcom Parks	3	5	439	コミュニケーションについてのベーシックな授業で、教授も楽しい人。発言、レポートが重視される。
4	Mexican Immigration	Carolyn Pinedo Turnovsky	4	5	40	メキシコ系移民についての授業。出席重視、レポートは2週間に1回。比較的少人数で、発言がしやすい。
5	University Learning Skill	Tish Lopez	4	3	20	アクション映画と社会学を結び付けた授業。非ネイティブ向けなので、発言しやすい。教授も協力的。課題は多い。
6	Basic Spanish Review	Joan Fox	5	5	20	スペイン語の授業。課題は毎日あるが、それをこなせば確実に単位は取れる。インタラクティブな授業で、授業に参加することも重要。
7	Japanese Sociolinguistic	Amy Snyder Ohta	4	5	30	日本語社会言語学の授業。言語学を社会的視点からみるので、自分の生活と結びついていておもしろい。また日本人として意見を聞かれることも多く、参加しやすい。
8	Economics of Latin America	Adrian Sinkler	4	5	150	ラテンアメリカ経済についての授業。すべて中間・期末テストで評価されるので、経済学に慣れていなければ難易度は高い。
9	Elementary Spanish	Aurora Salvador Sanchiz	5	5	20	スペイン語の授業。課題は毎日あるが、それをこなせば確実に単位は取れる。インタラクティブな授業で、授業に参加することも重要。
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

クラスサイズは20人～400人とかなり幅があるが、100人以上の大きなクラスになると、大講義以外にクイズセクションというゼミのような少人数クラスに分けられ、週1回はそのクラスでディスカッションをする機会がある。成績評価は課題のほかに、発言数なども考慮されることが多い。現地学生は平日は毎日課題に取り組み、良い成績をとることに貪欲である。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

- ・航空運賃： 約12万円
 - ・住居費：（月額） 7万円 ×（留学月数） 10 ヶ月 = 70万円
 - ・食費：（月額） 1.5万円 ×（留学月数） 10 ヶ月 = 15万円
 - ・保険料： 約10万円
 - ・その他： 雑費3万円
- 合計： 約110万円 （留学期間全体の費用）

その他 自由に記入してください。(800字～)

ワシントン大学は非常に大きく、授業が豊富で、自分の興味にあった授業を受けられたのがとてもうれしかった。自分の専門分野であるラテンアメリカ学に関しては、著名な教授も複数在籍していて、実際そのような教授と話すことができたのも大きな収穫である。他の分野の授業でも、教授と生徒の距離がとても近い。プレゼンテーションやグループワークなど活発に授業に関わる姿勢が求められ、初めは緊張していたが後々慣れ、いい経験となった。

自分の専門分野を伸ばせただけでなく、英語力も大きく向上した。毎日の大量の課題(リーディング)をこなしたり、友達と話すことで、スピーキング、リーディング、ライティング、リスニングすべての能力を伸ばすことができた。

シアトルに関しては、雨が非常に多く初めは憂鬱になることもあったが、慣れるととても住みやすい街である。アジアマーケットやレストランがたくさんあるので食事には困らないし、人も優しく良心的な人が多い。また、ある程度都会であるため、課外活動もしやすいのが魅力である。ボランティアやインターンシップ等が比較的に見つけやすく、自分で動けばできることの幅は非常に広い。私はラテンアメリカ系移民のコミュニティで働いていたが、例えば他の友人は出版系の会社でインターンシップをして実際に記事を書いたり、取材をしたりしていた。

学校にてチューターなどはいないが、日本人学生と日本に興味のある現地の学生が集まった団体があり、イベント等を多く企画してくれるので個人的に仲の良い友達を作るチャンスは多い。また、FIUTSという留学生サポートのための大きな団体もある。このような団体を通し、友達づくりも比較的スムーズに行うことが可能である。

以上簡単な留学報告である。ワシントン大学、シアトルはともに非常に規模が大きい。そのため、自分から能動的に行動すれば、できること、得られることも多い。そのような活発で自発的な人にお勧めである。